

守口文化センター指定管理者制度 総合評価(施設所管課による評価)

【評価対象施設】 守口文化センター

【指定管理者名】 シンコースポーツ株式会社

【評価対象年度】 令和4年度

【施設所管課名】 市民生活部 生涯学習・スポーツ振興課

施設のサービス水準の視点 コメント
平成31年度から続いた新型コロナウイルスに伴う休館等の感染拡大防止の影響もなく、通常通りの運営に戻った1年間となったが、施設稼働率がコロナ流行前の平成30年度と比較してやや減少している。規制解除となつてからの施設利用率に足踏みを感じられたが、新たなイベントの企画開催を含め実施件数を昨年度よりも増加させ参加人数の集客に努めた点は評価できる。 これまでのコロナ禍を含めた社会情勢の中での利用者数の確保や、国策であるDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進の観点からも、利用者にとって講座・イベントに参加しやすい環境を整備し、魅力的な事業の企画・実施を図られたい。 利用者満足度については、懸念事項である老朽化といった問題点はあるものの、スタッフの対応面や予約方法で概ね高い満足度を達成している。図書室の運営についても利用者のスタッフ対応の充実や予約システムの浸透により評価の高い点も評価できる。図書の課題点(案内表・探し易さ)については、改善を求めたい。 引き続き、利用者ニーズの分析積極的な事業展開や、図書については守口市立図書館との連携を密に取り、さらなる利用者増につながるサービスの提供に努められたい。

収支状況 コメント
収入の部では施設利用料収入や事業収入が振るわず、支出では特に高騰する光熱水費への対応や毎年の管理費の支出増加が著しく収入を上回った実績のため、指定管理者開始の平成31年度より引き続き赤字決算となっている。 今後は固定的な管理費に加え、懸念される光熱水費の上昇といった課題を抱えた上での運営が続くものと予想されることから、さらなる効率的な施設運営並びに事業展開を行うことが不可欠であるが、そのために利用者の満足度を損なうことなくニーズの収集・反映を行った管理運営に努められたい。

市(施設所管課)による総合評価	総合評価
多様なイベント開催による事業展開や、LED化による省エネ対策等の施設運営面での努力に加えて、利用者目線での図書サービスの充実は大いに評価できる。 指定管理期間の最後の1年を迎えるが、なお一層の魅力的な自主事業の展開を推進し、効率よく安定した事業収入を得られる取り組みに努められたい。 また、利用者ニーズに沿った施設修繕・改修を計画的に行い、適切な施設管理に努められたい。 駅前という公共交通機関と商業施設・社会体育施設が集中する好立地な環境を活かし、相互に連携や協働を図る構想も視野に入れながら、施設稼働率のさらなる向上を目標とし、市民に文化活動の場及び機会の提供を行う“本市における文化振興の拠点”として運営に努められたい。	B

総合評価区分

- A : 協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B : 概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C : 協定事項等の水準以下であった